

# 日本NIE学会第16回鳴門大会のご案内

日本NIE学会会長 阪根 健二  
第16回鳴門大会会実行委員長 大石 雅章  
(鳴門教育大学 理事)

新たな元号（令和）の年である2019年、そして2020年東京五輪を控え、これからの「新たなNIEの在り方」を、学会員の皆様と考えていく学会（大会）として、徳島県鳴門の地で開催いたします。前回の鳴門大会は、東日本大震災の年の2011年であり、8年ぶりの開催となります。本大会では、“多様性”と“交流”、そして“国際化”というキーワードを掲げて、NIEのこれからを考えるため、「教室と社会がつながる学び」とはどうあるべきか、NIEを通じた様々な知見や実践を紹介・提言してまいります。

なお、開催にあたり、本学主催の記念講演会、並行開催の和文化教育学会のアトラクション（高校生による阿波人形浄瑠璃実演）、本学図書館の“大村はま文庫”の一般公開などの特別企画をご用意しております。例年より早い時期の開催ですが、是非、秋の土日を鳴門でお過ごしください。

## 大会要項

主催 日本NIE学会

後援 (社)徳島新聞社、徳島県NIE推進協議会、香川県NIE推進協議会

協力 : 鳴門教育大学地域連携センター、和文化教育学会鳴門大会

1 期 日 令和元(2019)年10月19日(土)～20日(日)

2 会 場 国立大学法人 鳴門教育大学 講義棟  
(〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島 748 番地)

3 大会参加費(2日間) 会員 2,500円、会員外 3,000円、学生・院生・研究生 1,000円  
(当日、受付で納入します。なお、同時開催の行事は一般公開：無料)  
情報交換会(昼食会) 参加費 1,000円(弁当代)

4 テーマ 「新たな時代」に対応したNIE —教室と社会がつながる学びを—

## 5 日 程 (太枠部分が学会部分)

### 第 1 日目 令和元年 10 月 19 日 (土) 講義棟 1 階

10:00      11:30                  12:50~14:00      14:10                                  16:00                                  17:30

受付開始 ~14:00	理事会 B102	本学主催記念講演会 「教育はどう変わるのか -OECD 「Education2030」 が与えた流れー」 演題「変わりつつある日本の教育—国際 的な視点からー」	学 長 挨 拶	学会主催 記念鼎談 「教室と 社会がつ ながる学 びを」	総 会	移 動 ・ 休 憩	研究分科会 ①企画委員会分科会 ②研究委員会分科会 ③機関誌発行委員会分科会  *その他 ブース展示 (エントランス、B102)
和文化教育学会 アトラクション (講堂：無料) 阿波人形浄瑠璃実演 徳島県立城北高校 10:15~10:45	移 動 ・ 昼 食						

\* 初日の昼食は、会場受付でパンの販売をいたします。\* B102 (理事会、控室で終日活用)

### 第 2 日目 令和元年 10 月 20 日 (日) 講義棟 2 階

8:20 9:30                                  12:00 12:10 12:30                                  14:00 (図書館は 15 時まで)

受付 展示	自由研究発表 講義棟各会場 (講義棟 2 階)	移 動	閉会行事 全体会 B207 予定	情報交換会 (昼食会) * 大村はま文庫 特別公開 (附属図書館：無料)
----------	-------------------------------	--------	------------------------	---

\* 情報交換会は昼食会として、弁当を販売いたします。初日 (あるいは事前) に受け付けます。

## 6 概 要

(1) 鳴門教育大学主催 記念講演会 (19 日土曜日 12:50~14:00 : 無料 : B101 教室)

「変わりつつある日本の教育—国際的な視点からー」

【講師】 (独) 大学入試センター 試験・研究統括補佐官 (兼) 審議役 白井 俊氏

**略歴** 東京大学法学部卒、コロンビア大学法科大学院修士課程修了。平成 12 年文部省入省。平成 19 年生  
涯学習政策局政策課専門調査官、平成 21 年徳島県教育委員会 (学校政策課長、教職員課長、教育総務課  
長)、平成 24 年高等教育局大学振興課課長補佐、平成 27 年経済協力開発機構 (OECD) 教育スキル局ア  
ナリスト、平成 29 年文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室長、平成 31 年より現職。

講演では、OECD の「Education 2030」の取組やその背景、コンピテンシー重視の国際的トレンドなど、最  
新のカリキュラム改革の動向についてお話しいたします。特に、学習の枠組みを「知識」「スキル」「態  
度・価値」の 3 つの領域で考えており、NIE 実践につながるものです。

(2) 学会主催 記念鼎談 (19日土曜日 14:20~15:20 B101 教室)

「教室と社会がつながる学びを」

【登壇者】 阪根健二 (日本NIE学会会長)

岡本光雄 (一般社団法人徳島新聞社 理事編集局長)

野口幸司 (徳島新聞NIEコーディネーター:元徳島県小学校校長)

鼎談では、徳島県でのNIE実践を通して、教室と社会をつながる学びの在り方を、大学、新聞業界、教育現場の3者による鼎談を行います。

(3) 研究分科会 (19日土曜日 16:00~17:30 講義棟 B101、B104、B103 教室)

① 企画委員会分科会 (B101 教室)

「デジタル時代の知性<sup>インテリジェンス</sup>とは ーすべての子どもたちがデジタル世界で豊かに生きるためのNIE授業実践・学習研究のヒントー」

【登壇者】 土屋武志 (愛知教育大学)、二田貴広 (奈良女子大学附属中高等学校)

野津 孝明 (国立三瓶青少年交流の家) 他

小・中・高校生がどのようなメディアからどのような情報を得ているか、調査報告を元に、し意見交換を行います。特に、デジタル時代における知性(インテリジェンス)とはなにか、すべての子どもたちがデジタル世界で豊かに生きるためのNIE授業実践・学習研究のヒントとして、提案いたします。

② 研究委員会分科会 (B104 教室)

シンポジウム「NIE実践と研究のブレイクスルー」

【発表者】 中 善則 (花園大学)、伊吹侑希子 (京都学園中学高等学校)

富士健一 (福井県教育庁嶺南教育事務所)

【指定討論者】 柳澤伸司 (立命館大学)

【コーディネーター】 植田恭子 (都留文科大学)、角田将士 (立命館大学)

NIEにおける実践・研究のより一層の興隆のためには、これまでのように属人的に個別の実践を積み重ねていくだけではなく、実践者も含めて、より普遍的な視点から意義あるNIE実践とはどのようなものかを研究として問うていくこと、つまり、NIEの実践と研究のさらなる展開(ブレイクスルー)が求められると考えます。そのためには、① 実践者と研究者とが連携して、個々の実践を教育的効果はもちろんのこと、高い研究的価値を有した実践へと高めていくこと、② 実践者が自らの実践に内包される普遍的な価値を意識しながら、研究発表・論文として自らの実践を一般化していくこと、③ 実践能力に加え、①・②を可能とする研究的連携力、研究的視野をも有したNIE実践・研究の担い手を育成していくこと、などが課題となるでしょう。本分科会においては、これまでの研究委員会での取り組みをケーススタディとしながら、これらの課題に迫っていきたいと考えています。

③ 機関誌発行委員会分科会 (B103 教室)

「NIE 研究・論文作成について ―論文の書き方や投稿について―」

【助言者】小田泰司 (福岡教育大学)、鴛原 進 (愛媛大学)

橋本祥夫 (京都文教大学)、朝倉 淳 (安田女子大学)

学会誌に投稿したいが、その形式などが分からない、自分の研究について、論文としてどうまとめればいいのかを指導・助言する分科会です。個別の助言も可能ですので、学会員のみならず、学生や院生も、この機会にぜひご参加ください。

(3) 自由研究発表 (20 日 日曜日 9:30~12:00 B203, B205, B207, B208 教室 4 会場)

① 発表について

ア、発表方法：口頭発表、パソコンでのプレゼン可 (RGB, HDMI)

イ、発表時間：発表時間 20 分 質疑応答 10 分

ウ、発表資格：日本 NIE 学会の会員 (共同発表の場合も、発表者全員が会員であること)

② 発表申込方法

「発表申込書」は、ワード文書を用意しています。ワード文書に必要事項をご入力の上、E-mail で添付ファイルとして、以下の送信先 (大会事務局) まで送信ください。添付ファイル名は、「発表申込\_氏名」としてください。「発表申込」と「ご氏名」の間のアンダースコア (“\_”, 半角で入力) は、“Shift”キーを押した状態で“Shift”キー左横の「ろ」を押してください。

例えば、ご氏名が「鳴門太郎」の場合、ファイル名は、発表申込\_鳴門太郎.doc です。なお、E-mail での送信が難しい場合には、「発表申込書」を、FAX または郵送にて、以下の送付先 (大会事務局) までお送りください。大会事務局より、受付確認のご連絡 (E-mail・電話等) をいたします。

③ 「発表申込書」の送信 (送付) 先

日本 N I E 学会第 16 回鳴門大会事務局 〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島 7 4 8 鳴門教育大学 阪根研究室 (担当 阪根、北島) FAX : 088-687-6593、 E-mail : sakane@naruto-u.ac.jp
--

④ 発表申込の締切 2019 年 8 月 15 日 (木) 必着

- 発表を受け付ける場合には、8 月中旬までに E-mail にて決定通知を送信いたします。
- 発表要旨集録原稿を、大会事務局宛にお送りください。締切厳守でお願いします。
- 提出原稿に誤字・脱字等がございましたも、一切の修正はいたしません。
- 提出原稿の差し替えは、原稿締切日までに差し替え原稿が届いた場合にのみ対応いたします。

⑤ 発表要旨集録原稿作成について

**ア、提出方法**

ワード文書（一太郎でも可能だが、出来ればワードが望ましい）で原稿を作成し、E-mail で添付ファイルとして、大会事務局まで送信ください。添付ファイル名は、「要旨原稿\_氏名」としてください。「要旨原稿」と「ご氏名」の間のアンダースコア(“\_”，半角で入力)は，“Shift”キーを押した状態で“Shift”キー左横の「ろ」を押してください。例えば、ご氏名が「鳴門太郎」の場合、要旨原稿\_鳴門太郎.doc です。発表要旨集録原稿の締切日は、**2019年8月30日（金）必着**です。印刷・製本の都合上、締切厳守をお願いします。

個別に資料を配布される場合は、100部程度を持参して、8時30分までに分科会会場までお持ちください。

**イ、発表要旨集録用原稿 様式**

(1行目)           ○○○におけるNIEの現状と課題（←タイトルは1行目中央）

(2行目)                   — アンケート調査結果の分析から— （←サブタイトルは2行目中央）

(3行目)

(4行目)                   (氏名（所属）は4行目右寄せ→)   氏名（所属）

(5行目)

1□アンケートの概要       （←本文は6行目から）

□□□

  

2□アンケートの結果

□□□

□□□

□□□□□□□□

  

3□考察

□□□

  

用紙はA4判、上下左右マージン（余白）各20ミリ。

日本NIE学会 Web ページから様式をダウンロードできます。

<https://jssnie.jp/publication/abstract/>

#### (4) その他の行事

① 和文化教育学会アトラクション (19日土曜日 10:15~10:45 講堂 : 無料)

阿波人形浄瑠璃 実演 (徳島県立城北高校民芸部)

自由に観覧できます。徳島県が誇る和文化であり、この機会にぜひご覧ください。

② 大村はま文庫特別公開 (鳴門教育大学附属図書館 : 無料 : 会期中いつでも : 20日15時まで)

鳴門教育大学附属図書館長を務め、大村はま文庫の創設に尽力された橋本暢夫氏 (前回大会で講演) は、大村の実践を「NIEの先駆者」として高く評価しています。新聞を活用した実践もあり、貴重な文献や学習の記録などが収蔵されておりますので、この機会にぜひご覧ください。

③ 閉会行事、情報交換会 (20日日曜日 12:10~14:00 講義棟 B207)

今回は、初日夜に開催していた情報交換会を実施いたしません。その代替として、2日の昼食会 (情報交換会) を実施します。初日の受付で集金いたしますが、参加申し込み時点で希望を伺います。

また、閉会行事を行い、学会のまとめを行うと共に、次期大会について、事前案内をいたします。

④ 展示及び書籍等販売 (19日1階、20日2階 : 講義棟エントランス)

法人会員及び広告掲載の方に、展示・販売用ブース等をご用意します。また、法人会員は、学会冊子内に、有料広告以外に、会員名等の紹介欄を作ります。(4分の1ページ程度で無料です。)

#### (5) 参加申し込みについて

① 参加申込方法

「参加申込書」(ワード文書)に必要な事項をご入力の上、E-mailで添付ファイルとして、以下の送信先(大会事務局)まで送信ください。添付ファイル名は、「参加申込\_氏名」としてください。「参加申込」と「ご氏名」の間のアンダースコア("\_", 半角で入力)は、"Shift"キーを押した状態で"Shift"キー左横の「ろ」を押してください。

例えば、ご氏名が「鳴門太郎」の場合、ファイル名は、参加申込\_鳴門太郎.docです。なお、E-mailでの送信が難しい場合には、「参加申込書」をFAXまたは郵送にて、以下の送付先(大会事務局)までお送りください。大会事務局より、受付確認のご連絡(E-mail・電話等)をいたします。

参加申込の締切 2019年9月30日(金)まで

③ 「参加申込書」の送信(送付)先

日本NIE学会第16回鳴門大会事務局 〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748

鳴門教育大学 阪根研究室 (担当 阪根、北島)

FAX : 088-687-6593、 E-mail : sakane@naruto-u.ac.jp

7 アクセスなど（時刻変更などがありますので、詳細は各社の時刻表で確認ください。）

(1) 航空機の場合（徳島あわおどり空港：一部掲載：10月就航分）

東京（羽田） → 徳島		徳島 → 東京（羽田）	
JAL453	07:00→08:15	ANA284	15:20→16:40
ANA281	08:55→10:10	JAL460	15:30→16:40
JAL455	09:45→11:00	JAL462	17:30→18:45
JAL457	11:45→13:00	ANA286	18:50→20:10
(以下 略)		JAL464	20:35→21:45

福岡 → 徳島		徳島 → 福岡	
JAL3563	10:00→11:00	JAL3564	11:30→12:45
JAL3567	18:15→19:15	JAL3568	19:50→21:00

\* タクシーで大学まで、3500円程度（25分程度）

空港から路線バス

（往路：鳴門公園行で、小鳴門橋で乗り換え 鳴門教育大学前）

空港 → 鳴門教育大学前	鳴門教育大学前 → 空港
<u>8:36</u> → 9:14	13:00 → 14:25
<u>10:11</u> → 10:48	<u>15:13</u> → 16:20
<u>11:41</u> → 12:43	17:43 → 18:20
13:41 → 14:27	

※ 「鳴門教育大学前」路線バス時刻（2019年1月現在：土日時刻）

鳴門教育大着 8:13、9:14、10:48、12:43、14:27、15:53、17:17、18:17、21:13

鳴門教育大発 7:19、8:53、10:18、11:13、13:00、15:13、16:18、17:43

\* 「小鳴門橋」で乗り換えて、高速バス「高速鳴門」に接続出来ます。

\* 空港便も、「小鳴門橋」で乗り換えます。

\* 小鳴門橋バス停には、待合所などがあります。

**徳島市内からのバス利用（徳島バス）の推奨便（徳島市内、鳴門市内宿泊などに）運賃 630円**

行 徳島駅発 7:30 → 鳴門駅発 8:03 → 小鳴門橋発 8:08 → 鳴門教育大学着 8:13

徳島駅発 8:30 → 鳴門駅発 9:03 → 小鳴門橋発 9:09 → 鳴門教育大学着 9:14

帰 鳴門教育大学発 15:13 → 小鳴門橋発 15:20 → 鳴門駅発 15:23 → 徳島駅着 16:03

鳴門教育大学発 17:43 → 小鳴門橋発 17:50 → 鳴門駅発 17:53 → 徳島駅着 18:33

# アクセスマップ

(高速バス「高速鳴門バス停」は、神戸空港、新神戸、大阪、京都、東京などと接続しています。)



\* JR 鳴門駅からは、徳島行の普通列車が出ています。(岡山・高松からは、池谷で乗り換え)



\* 大学周辺に、鳴門市内にいける「官営渡船」があります。(無料ですが、やや歩きます。)



# キャンパスマップ



\* 自家用車でおいでの方は、学内に駐車場があります。(自由に入れます。)

\* 自家用車は、高速道路・鳴門ICから10分程度(ICから小鳴門大橋を経由されると便利です)

\* 周辺に食事場所はありません。飲み物の自販機はあります。コンビニは周辺に2か所あり、自家用車なら3分程度の距離ですが、徒歩ではやや遠いです。大学会館は、土日は空いていません。

\* 本学では「受動喫煙の防止」のため、敷地内禁煙です。正門などの大学周辺での喫煙をご遠慮いただくため、屋外の定められた場所に臨時喫煙所を設けておりますが、灰皿等の設置はありません。

## 日本N I E学会第 16 回鳴門大会 自由研究発表申込書

ふりがな 発表者氏名			
発表者所属 *1			
連絡先住所 <都道府県名より ご記入ください>	〒	都・道・府・県	
TEL		FAX	
E-mail			
共同発表者 *2	ふりがな		
	氏名		
	所属*1		
使用機器 *3	パソコン    使用する（持参・大学の機材を使用）    ・    使用しない		
タイトル *4 ーサブタイトルー			
発表要旨  <発表要旨により、 大会実行委員会で分 科会を決定します。 200～400 字程度で簡 潔にご記入ください >			

\*1 発表資格にご留意ください。詳細は「発表申込方法」をご参照ください。発表者、共同発表者で、学生・院生の方は、ご所属と共に「学生」または「院生」とご記入ください。

\*2 共同発表者が 3 名以上の場合には、適宜、必要人数分の記入欄を追加してご記入ください。

\*3 パソコン等を使用される場合は、大学でも準備いたしますが、持参いただいても結構です。Mac を使用され場合は、変換アダプターもご持参ください。発表会場には、プロジェクター、スクリーン、RGB ケーブル、HDMI ケーブルがあります。

\*4 サブタイトルは、必要な場合のみご記入ください。2019 年 8 月 1 5 日（木）必着（変更しています）

## 日本 N I E 学会第 16 回鳴門大会 参加申込書

ふりがな 氏 名																											
所 属																											
連絡先住所 <small>&lt;都道府県名より ご記入ください&gt;</small>	〒  都・道・府・県																										
TEL		FAX																									
E-mail																											
種 別*1	学会員 ・ 学会員外 ・ 学生・院生・研究生																										
参加希望 <small>(人数把握のため)</small>	<p><u>参加希望の研究分科会に○をつけてください。(予定も含めて)</u></p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 40%;">① 人形浄瑠璃</td> <td style="width: 20%;">参加する</td> <td style="width: 20%;">・</td> <td style="width: 20%;">参加しない</td> </tr> <tr> <td>② 記念講演</td> <td>参加する</td> <td>・</td> <td>参加しない</td> </tr> <tr> <td>③ 鼎談</td> <td>参加する</td> <td>・</td> <td>参加しない</td> </tr> <tr> <td>③ 情報交換会(昼食会)</td> <td>参加する</td> <td>・</td> <td>参加しない</td> </tr> <tr> <td>④ 大村はま文庫見学</td> <td>参加する</td> <td>・</td> <td>参加しない</td> </tr> <tr> <td>⑤ 駐車場</td> <td>使う</td> <td>・</td> <td>使わない</td> </tr> </table>			① 人形浄瑠璃	参加する	・	参加しない	② 記念講演	参加する	・	参加しない	③ 鼎談	参加する	・	参加しない	③ 情報交換会(昼食会)	参加する	・	参加しない	④ 大村はま文庫見学	参加する	・	参加しない	⑤ 駐車場	使う	・	使わない
① 人形浄瑠璃	参加する	・	参加しない																								
② 記念講演	参加する	・	参加しない																								
③ 鼎談	参加する	・	参加しない																								
③ 情報交換会(昼食会)	参加する	・	参加しない																								
④ 大村はま文庫見学	参加する	・	参加しない																								
⑤ 駐車場	使う	・	使わない																								
分科会等	<p><u>参加希望の研究分科会に○をつけてください。</u></p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 40%;">① 企画委員会分科会</td> <td style="width: 20%;">( )</td> <td style="width: 20%;">( )</td> <td style="width: 20%;">( )</td> </tr> <tr> <td>② 研究委員会分科会</td> <td>( )</td> <td>( )</td> <td>( )</td> </tr> <tr> <td>③ 機関誌発行委員会</td> <td>( )</td> <td>( )</td> <td>( )</td> </tr> </table>			① 企画委員会分科会	( )	( )	( )	② 研究委員会分科会	( )	( )	( )	③ 機関誌発行委員会	( )	( )	( )												
① 企画委員会分科会	( )	( )	( )																								
② 研究委員会分科会	( )	( )	( )																								
③ 機関誌発行委員会	( )	( )	( )																								
参加費 (当日、 受付で納入)	<p>大会参加費(2日間) 会員 2,500 円、会員外 3,000 円、学生・院生・研究生 1,000 円</p> <p>参加費 ( ) 円</p> <p>情報交換会(昼食会) 参加費 1,000 円(弁当代)</p> <p>弁当代金 ( ) 円</p>																										

申し込み先 鳴門教育大学 阪根研究室(担当 阪根、北島) E-mail : [sakane@naruto-u.ac.jp](mailto:sakane@naruto-u.ac.jp)  
(あるいは、FAX : 088-687-6593) 2019 年 9 月 3 0 日 (金) 必着